



# 奈良県における 人の動き

令和3年  
第6回近畿圏  
パーソントリップ調査  
結果から

令和6年3月  
奈良県

## CONTENTS / 目次

■ はじめに	01
■ 第6回パーソントリップ調査の概要	02
■ 奈良県の人々の動き	03
■ 地域の人々の動き	05
■ 目的からみた人の動き	09
■ 交通手段からみた人の動き	10
■ 高齢者および若者の動き	11
■ 移動困難者の動き	15
■ 新型コロナウイルス感染症による影響	16
■ 調査票	17


 はじめに

近畿圏は、京都市・大阪市・堺市・神戸市の大都市や大津市・姫路市・奈良市・和歌山市等の中核都市が共存する多核型の都市圏です。このような特徴的な構造を持つ都市圏の活性化に資する総合都市交通体系を確立するためには、広範囲な地域間の連携が不可欠です。

このため、京阪神都市圏交通計画協議会\*では、人の動きに着目したパーソントリップ調査を昭和45年(1970年)に初めて実施し、その後10年ごとに5回の調査を行い、都市交通政策の検討に活用してきました。

令和3年(2021年)には「第6回近畿圏パーソントリップ調査」を実施し、奈良県では、約8千世帯・約1万6千人の方からご回答(調査票の返送・インターネットによる回答)をいただきました。大変多くの方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本書は、第6回近畿圏パーソントリップ調査結果から、主な項目について奈良県を中心に取りまとめたものです。皆様が交通についてお考えになる際に、少しでもお役にたてれば幸いです。

\* 京阪神都市圏交通計画協議会  
国土交通省、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、西日本高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、独立行政法人都市再生機構、関西鉄道協会、近畿バス団体協議会